

グルジア政治・経済 主な出来事

【2013年11月11日～11月17日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年11月21日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼ソチ五輪に関するエシバ「副首相」の発言(11日)

・ソチで五輪の安全責任者と協議を行なったエシバ「副首相」は、五輪開催に際し、「アブハジア・ロシア間の『国境』の通過に対するいかなる制限も実施されない」と発言。

▼第5回ロシア・アブハジア実務フォーラム(14日～15日)

・ソフミで第5回ロシア・アブハジア実務フォーラム「ロシアとアブハジア 2008-2013: 5年の経験と協力の展望」が開催され、アブハジアの社会・経済発展の現状、ロシアとの協力、交通インフラの整備などについて議論された。モスクワ商工会議所とアブハジア「商工会議所」の協力に係る合意などの文書に署名がなされた。

【南オセチア】

▼南オセチア「検察」と露検察が協力に合意(13日)

・モスクワにてチャイカ露検事総長と南オセチア「検事総長」が会談。2013年～2014年の露検察と南オセチア「検察」の協力に係る文書に署名。

▼第39回IPRM会合(15日)

・参加者は前回の会合以降の状況を検討。EUMM および OSCE はグルジアの大統領選挙期間中の治安関係者の抑制的な行動を評価。拘束者や行方不明者の問題、フェンスなどの障害物の建設および障害物が住民の移動の自由や生活に与える影響などについて議論。
・次回の会合は12月9日の予定。

2. 外 政

▼米戦艦がバトゥミに入港(11日)

・11日、米戦艦「Mount Whitney」がバトゥミ港に到着。2008年9月、戦争直後のグルジアに人道物資を届けるためにポティ港にやってきて以来5年ぶり。

・12日、グルジア沿岸警備隊と共同訓練を実施。13日に出港した。

・今年に入ってから米戦艦の来航は2度目。8月には米戦艦「Bulkeley」が4日間バトゥミ港に停泊した。

▼グルジア沿岸警備隊がアブハジアからトルコに向かう貨物船を拿捕(12日)

・沿岸警備隊は、「被占領地域への入域に係る規則」を犯したとして、ベリーズ国旗を掲げてアブハジアからトルコに向かっていた貨物船を拿捕。船員のアゼルバイジャン人3名、ウクライナ人5名を拘束した。

ン人3名、ウクライナ人5名を拘束した。

▼ガリバシヴィリ内務大臣がフランスを訪問(12日～14日)

・ガリバシヴィリ内務大臣はヴァルス仏内務大臣と両国の協力関係について会談し、移民に係る合意に署名。

・ルパンタン欧州担当問題大臣とも会談し、グルジアのEU加盟の見通しについて情報を交換するとともに、「ガ」内務大臣は被占領地域の状況を説明した。

▼グルジアとポーランドが交通分野に関する協力について合意(13日)

・グルジアを訪問したノヴァク・ポーランド運輸・建設・海洋経済大臣とクヴィリカシヴィリ経済・持続的開発大臣が会談し、両政府間の「国際的な自動車交通に係る合意」および「海洋交通に係る合意」についての文書に署名。ノヴァク大臣は「ポーランドはEU加盟を求めるグルジアを支援する」と話した。

▼バンジキゼ外務大臣がベルギーを訪問(14日～16日)

・14日、フューレ拡大・近隣政策担当欧州委員と会談。EUとグルジアとの協力における優先的な課題およびヴィリニウス首脳会議が主なテーマとなり、ヴィリニウス首脳会議での連合協定の仮署名と2014年夏の署名の見通しを再確認した。

・シュミット欧州対外行動庁事務次長とも会談。

▼「査証自由化行動計画」の実施に関するEUの評価(15日)

・欧州委員会は、グルジアが法整備や国境管理などについて「非常に良い前進」を遂げたと評価。グルジアとEUは2012年6月に査証自由化に係る協議を開始し、2013年2月末にEUはグルジア側に「査証自由化行動計画」(短期的な査証免除のために必要な要件)を提示した。

・2011年1月に「行動計画」が提示されたモルドバに関しては、全ての要件が達成されたとして、生体認証パスポート保有者に対する査証免除を提言。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領の就任に関するオバマ米大統領の声明(16日)

・オバマ米大統領が「マ」大統領の就任式の前日に声明を発表。声明は平和的かつ民主的な選挙で大統領が交代したことについてグルジア国民と「マ」大統領を祝うとともに、グルジアの民主制度の発展において決定的な役割を果たしたとしてサーカシヴィリ大統領とイヴァニシヴィリ首相の名を挙げ、「私はグルジアの全ての政治指導者に対し、協力して市民社会とともに取り組み、この成果を推し進めることを呼びかける」と述べている。

▼アラサニア国防大臣がアパトゥラインNATO中央アジア・コーカサス担当事務総長特別代表と会談(17日)

・「ア」特別代表は大統領就任式に参加。就任式後に「ア」国防大臣と会談を行ない、大統領選挙が民主的に行なわれたことを評価。会談では、グルジアの国防改革、NATO・グルジア関係の展望、ISAF ミッションなどについて話し合われた。

3. 内 政

▼大統領選挙の公式最終結果(12日)

・中央選挙委員会が10月27日に行なわれた大統領選挙の公式最終結果を発表。投票率は46.95%。登録有権者数3,537,719人のうち1,660,976人が投票した。無効票は30,101票。

・投票率は、マルグヴェラシヴィリ候補(グルジアの夢)62.12%、バクラゼ候補(統一国民運動)21.72%、ブルジヤナゼ候補(民主運動・統一グルジア党)10.19%、ナテラシヴィリ候補(グルジア労働党)2.88%、タルガマゼ候補(キリスト教民主運動党)1.06%。他18候補者の得票率はいずれも1%未満。

▼ヘタグリ元エネルギー大臣・元金融大臣およびグヴァラミア元法務大臣・元教育大臣に対する無罪判決(14日)

・トビリシ市裁判所は、2012年夏に電力会社Telasiとの間で収賄と資金洗浄に関与したとして、2012年12月に起訴されたヘタグリ元エネルギー大臣・元金融大臣および元法務大臣・元教育大臣で現在はTV局「ルスタヴィ2」社長のグヴァラミア氏に対し、無罪判決を下した。同時に起訴されていたカンデラキTelasi元社長ら4人に対しても無罪が言い渡された。

・2007年には次席検事を務めていたグヴァラミア氏は、検察について「政治的に偏向している」と批判。

▼ボケリア国家安全保障会議書記が辞任(15日)

・既に辞任の意向を表明していたボケリア氏がサーカシヴィリ大統領に辞任を届け出、「サ」大統領が受理。2010年11月から書記を務めていた。

・与党連合「グルジアの夢」は、イメルリシヴィリ議員が後任に就くことを発表している。

▼全ての地方知事が辞任(15日)

・大統領の交代に伴い、全ての地方知事がサーカシヴィリ大統領に辞任を届け出、「サ」大統領が受理。

・これまで地方知事は大統領が任命することになっていたが、新大統領の就任に伴い発効する憲法改正により、政府が地方知事を任命するようになる。

▼バルノヴィ大統領府長官が辞任(16日)

▼大統領就任式(17日)

・トビリシ中心部の旧国会の中庭で執り行なわれた就任式で、44歳のマルグヴェラシヴィリ氏が第4代大統領に就任した。任期は5年。

・「マ」大統領は憲法の上に手を置き、「私はグルジア大統領として、国民と祖国の再興と強化のため、神と国民の前に、グルジア憲法を遵守し、国家の独立・結束・不可分性を守り、大統領の職務を忠実に遂行し、国民の安全と繁栄を保護することを誓う」と宣誓し、その後、就任演説を行なった。

・就任式にはグリボウスカイテ・リトアニア大統領、ラシザデ・アゼルバイジャン首相、トード・オーストリア連邦議会議長、ラジフ・シャーUSAID長官ら50か国の代表団が出席。

・サーカシヴィリ大統領をはじめ「統一国民運動」の関係者は一人も参加しなかった。

・日本からは牧野たかお外務大臣政務官が安倍総理の特使として出席。就任式後に「マ」大統領、ガリバシヴィリ内務大臣・次期首相およびパンジキゼ外務大臣と会談した。

・就任式の後、「マ」大統領は英雄広場に向かい、命を落としたグルジアの兵士たちの記念碑に花を捧げた。

・新大統領の就任に伴い、2010年に採択された憲法改正が発効した。新憲法では首相・政府の権限が強化される代わりに、大統領の権限が大きく縮小されている。

4. 経 済

▼EBRDが2013年のグルジアの経済成長予測を2%に引き下げ(12日)

・欧州復興開発銀行(EBRD)は、2013年のグルジアの経済成長予測を3%から2%に、GDP成長率予測を5%から4%に引き下げた。インフレ率予測は0%。EBRDは経済の減速の理由として国家による投資の減少および政治的流動性を挙げ、2014年には経済成長が回復すると予測。

▼グルジア鉄道の従業員がストライキを開始(14日)

・2000人以上の従業員が残業の補償や賞与に関する透明なシステムを求めてストライキを開始。

▼2012年のGDP(15日)

・国家統計局によれば、2012年の名目GDP(確報値)は26,167.3百万ラリ。前年比7.5%増。

・実質GDPの成長率は6.2%。GDPデフレーターは前年比プラス1.2%。

・GDPの分野別内訳は工業16.7%、通商16.7%、行政11.2%、運輸・通信10.6%、農林・漁業8.6%、建設7.8%など。

▼2013年10月の工業製品生産者物価指数(15日)

・前月比プラス0.6%。前年同期比マイナス5.1%。

4. その他

▼M4. 2の地震が発生(16日)

・3時49分、黒海沿岸部を震源とするマグニチュード4.2の地震が起きた。被害は確認されていない。